

新潟市子ども・子育て会議
平成30年度 第3回 幼保部会 会議速報

開催日時	平成30年6月20日（水）午後1時15分～午後3時00分
会 場	新潟市役所分館3階 302会議室
出席委員	小池委員、斎藤委員、椎谷委員、志賀委員、長委員、平澤委員、正木委員、横尾委員（計8名）
事務局等出席者	保育課長、同課長補佐、同課管理係長、同課管理係主事（1名）（計4名）
公開・非公開	非公開
議事概要	<p>○資料の訂正について 第1回および第2回会議時に配布した「市立・私立保育施設 建築年数等一覧」の訂正資料を配布しました。（訂正箇所を赤字で記載）</p> <p>○「（仮称）市立保育園配置計画」骨子案について説明しました。 資料1-1 資料1-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1のとおり、5段構成で計画を策定する。 ・計画の期間は、2018年10月（予定）から2023年3月末まで。 ・計画の対象は市立の全87園とし、その中で優先順位をつけ、区と協議しながら対応していく。 <p>○基幹保育園について、構想のたたき台を説明後、意見交換を行いました。 資料2-1 資料2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の保育のほかに、関係機関との連携を図りながら、情報拠点機能や、市立、私立および認可、認可外の枠を越えた人材交流などによる人材育成拠点機能等を担う。 ・それに加え、災害時の拠点機能や新しい保育施策のモデル園としての機能も担い、区の実情に合わせた数の整備を進める。 <p>【委員からの主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割が多すぎると機能しなくなってしまうおそれがある。 ・通常の保育が何よりも大事。新たな役割を機能させるためにも、保育士に加え事務員を配置する必要がある。 ・指導保育士が配置されると、現場の声がより拾えていいと思う。 ・どの先生に預けてもムラがないように、新人だけでなくベテランの育成にも力を入れてほしい。 ・苦情対応や保育士のケアをする機能があるといい。

